

≪平成24年≫
 (平成25年3月執行分)

月日	入札方法	工事名(業務名)	落札業者名	住所	予定価格 (消費税込 円)	落札価格 (消費税込 円)	落札率 (%)	備考
3月26日	地域限定型一般競争入札	一般廃棄物焼却処理施設長期包括委託事業モニタリング委託業務	(株)エイト日本技術開発札幌支店	札幌市北区北7条西7丁目1番地30号	3,307,500	3,255,000	98.41	

(平成24年11月執行分)

月日	入札方法	工事名(業務名)	落札業者名	住所	予定価格 (消費税込 円)	落札価格 (消費税込 円)	落札率 (%)	備考
11月29日	随意契約	一般廃棄物焼却処理施設長期包括委託事業に伴う運営準備業務	中・北空知環境テクノロジー(株)	歌志内市字本町307番地	66,276,000	65,100,000	98.23	

(平成24年10月執行分)

月日	入札方法	工事名(業務名)	落札業者名	住所	予定価格 (消費税込 円)	落札価格 (消費税込 円)	落札率 (%)	備考
10月15日	地域限定型一般競争入札	一般廃棄物焼却処理施設駐車場造成工事	堀川・加藤・葛西特定建設工事JV	歌志内市字文珠159番地8	36,057,000	34,965,000	96.97	
10月15日	地域限定型一般競争入札	一般廃棄物焼却処理施設防犯警備委託業務	セコム(株)	東京都渋谷区神宮前1丁目5番1号	241,920	93,240	38.54	
10月15日	地域限定型一般競争入札	事務関連什器一式購入契約(その1)	今野商事(株)	滝川市栄町2丁目1番16号	2,572,500	2,389,800	92.90	
10月15日	地域限定型一般競争入札	事務関連什器一式購入契約(その2)	(株)オオヤマ	砂川市西1条南10丁目2番1号	2,247,000	2,095,800	93.27	

(平成24年8月執行分)

月日	入札方法	工事名(業務名)	落札業者名	住所	予定価格 (消費税込 円)	落札価格 (消費税込 円)	落札率 (%)	備考
8月22日	地域限定型一般競争入札	ホイールローダー(11t級(スノーバケット)、マルチプラウ)購入契約	日立建機日本(株)滝川営業所	砂川市東1条北22丁目1番1	15,340,500	12,757,500	83.16	

(平成24年7月執行分)

月日	入札方法	工事名(業務名)	落札業者名	住所	予定価格 (消費税込 円)	落札価格 (消費税込 円)	落札率 (%)	備考
7月11日	地域限定型一般競争入札	ダンプトラック(GVM22t級、天蓋付)購入契約	北海道いすゞ自動車(株)空知支店	砂川市空知太東1条5丁目1番6号	19,782,000	19,635,000	99.26	

別紙1 一般廃棄物焼却処理施設長期包括委託事業の落札者の公表
 別紙2 一般廃棄物焼却処理施設長期包括委託事業の受託会社の公表

一般廃棄物焼却処理施設長期包括委託事業の入札結果について

地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 10 の 2 に規定する総合評価一般競争入札（平成 24 年 3 月 5 日告示第 6 号）について、入札参加者から事業提案書等の提出がありました。

一般廃棄物焼却処理施設長期包括委託事業総合評価審査委員会（以下「審査委員会」という。）は、入札価格及び事業提案書の内容について定量化審査による総合的な審査を行った結果、下記のグループを最優秀提案者として選定いたしました。

中・北空知廃棄物処理広域連合では、審査委員会の選定結果を踏まえ、下記の者を落札者に決定したので、公表します。

平成 24 年 8 月 10 日

中・北空知廃棄物処理広域連合
広域連合長 泉谷和美

記

1. 落札者

グループ名	日立造船グループ
代表企業	日立造船株式会社
構成員	日神サービス株式会社 明円工業株式会社 末廣屋電機株式会社 村田施設工業株式会社
協力企業	北海道三井化学株式会社 米倉商事株式会社

2. 落札金額

6,589,999,995 円（消費税及び地方消費税を含まない）

3. 審査委員会の審査講評

別途に公表する。

以上

一 般 廃 棄 物 焼 却 処 理 施 設
長 期 包 括 委 託 事 業
審 査 講 評

平成 24 年 7 月 31 日

中・北空知廃棄物処理広域連合
「一般廃棄物焼却処理施設長期包括委託事業」
総合評価審査委員会

1. 事業概要.....	1
(1) 事業名.....	1
(2) 事業実施場所	1
(3) 事業期間.....	1
2. 審査方法等.....	1
(1) 最優秀提案者選定の方法	1
(2) 最優秀提案者選定までの経過	1
(3) 審査委員会の設置	2
(4) 審査委員会の開催経過	2
(5) 最優秀提案者選定の手順	3
(6) 審査手順.....	4
(7) 定量化審査について	4
3. 最優秀提案者選定結果	8
(1) 資格審査.....	8
(2) 基礎審査.....	8
(3) 定量化審査及び事業提案書に関するヒアリング	8
(4) 最優秀提案者の選定	12
4. 総評.....	13

1. 事業概要

(1) 事業名

一般廃棄物焼却処理施設長期包括委託事業

(2) 事業実施場所

歌志内市字東光 30-3 ほか

(3) 事業期間

事業準備期間 : 事業契約締結日から平成 25 年 3 月 31 日

事業期間 : 平成 25 年 4 月 1 日から平成 40 年 3 月 31 日までの 15 年間

2. 審査方法等

(1) 最優秀提案者選定の方法

最優秀提案者の選定方法は、地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 10 の 2 に規定する、総合評価一般競争入札方式とする。

(2) 最優秀提案者選定までの経過

最優秀提案者選定の経過は表 1 のとおりである。

表 1 最優秀提案者選定の経過

日付	内容
平成 24 年 1 月 31 日（火）	実施方針の公表
平成 24 年 3 月 5 日（月）	入札公告
平成 24 年 3 月 5 日（月） ～平成 24 年 3 月 16 日（金）	入札説明書等の公表及び配布
平成 24 年 3 月 5 日（月） ～平成 24 年 3 月 16 日（金）	参考資料 1 の配布
平成 24 年 3 月 5 日（月） ～平成 24 年 3 月 16 日（金）	入札説明書等に関する質問の受付（第 1 回）
平成 24 年 3 月 23 日（金）	入札説明書等に関する質問の回答（第 1 回）
平成 24 年 3 月 26 日（月） ～平成 24 年 3 月 30 日（金）	参加資格申請書類の受付
平成 24 年 4 月 6 日（金）	資格審査結果の通知
平成 24 年 4 月 9 日（月） ～平成 24 年 4 月 19 日（木）	現地見学会及び参考資料 2 の閲覧 （資格審査通過者対象）
平成 24 年 4 月 16 日（月） ～平成 24 年 4 月 20 日（金）	入札説明書等に関する質問の受付（第 2 回） （資格審査通過者対象）
平成 24 年 4 月 27 日（金）	入札説明書等に関する質問の回答（第 2 回）
平成 24 年 5 月 30 日（木）	入札提出書類の受付
平成 24 年 7 月 31 日（火）	最優秀提案者の選定

(3) 審査委員会の設置

提案審査は、公正性及び透明性を確保し専門的知見に基づく評価を行うことを目的に、以下の3名の学識経験者により構成される「一般廃棄物焼却処理施設長期包括委託事業」総合評価審査委員会（以下「審査委員会」という。）において行った。

[委員の構成]

委員長	松藤 敏彦	北海道大学大学院工学研究院 教授
委員	栗原 英隆	公益社団法人全国都市清掃会議 技術顧問
委員	村井 公裕	社団法人北海道産業廃棄物協会 常務理事兼事務局長

(4) 審査委員会の開催経過

本件事業における審査委員会の開催経過は、表2のとおりである。

表2 審査委員会の開催経過

日 付	内 容
平成24年1月20日（金）	第1回審査委員会 （事業内容及び実施方針（案）に関する審議）
平成24年2月15日（水）	第2回審査委員会 （事業者募集書類に関する審議）
平成24年2月28日（火）	第3回審査委員会 （事業者募集書類に関する審議）
平成24年7月5日（木）	第4回審査委員会 （提案書審査に関する審議）
平成24年7月31日（火）	第5回審査委員会 （事業者ヒアリング、最優秀提案者の選定に関する審議）

(5) 最優秀提案者選定の手順

最優秀提案者選定の手順は図1のとおりである。

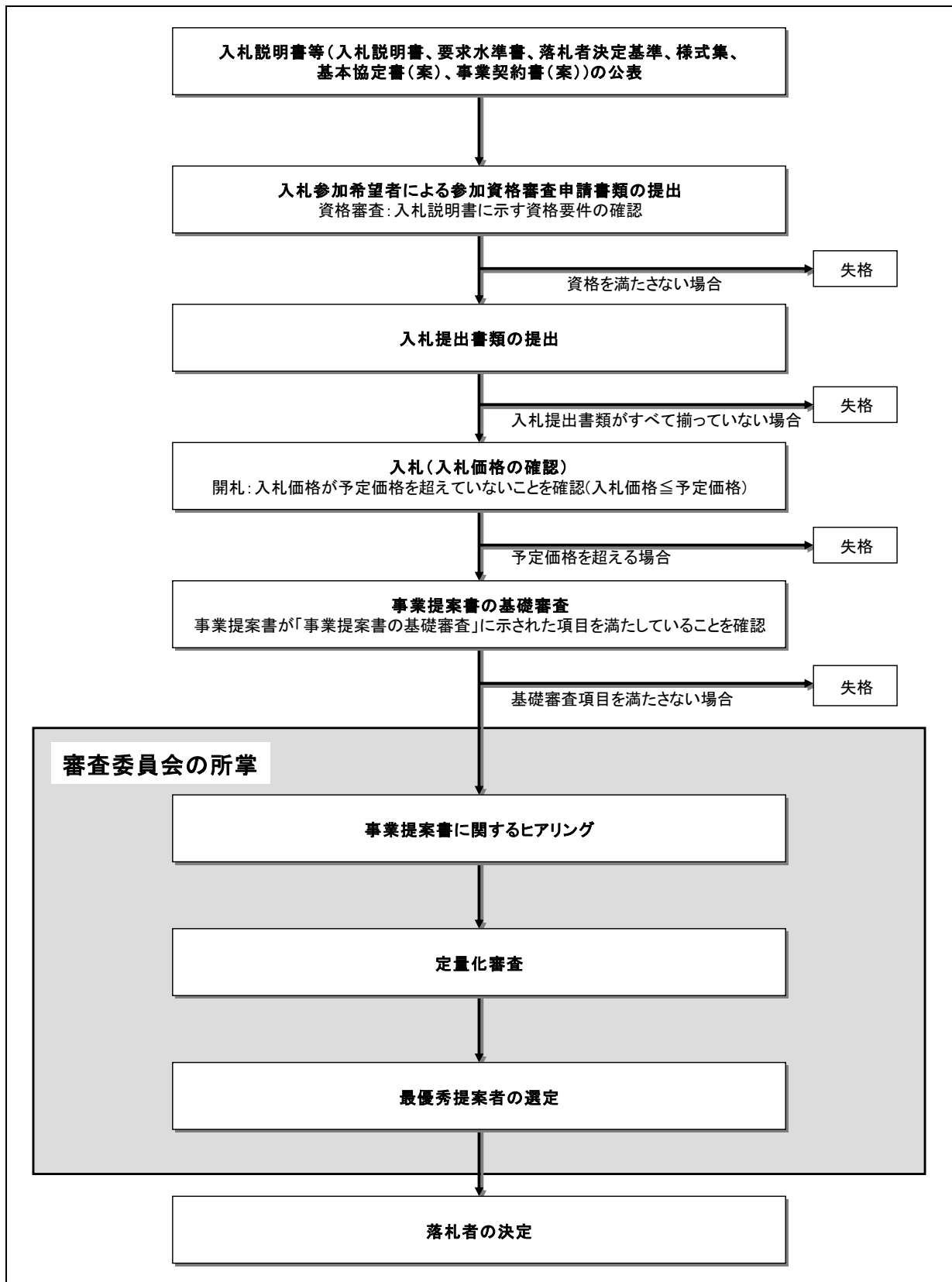


図1 最優秀提案者選定の手順

(6) 審査手順

ア 資格審査

中・北空知廃棄物処理広域連合（以下「広域連合」という。）は、参加表明書及び参加資格確認申請書等の提出書類により、入札説明書に記載の入札参加者の備えるべき参加資格要件（以下「参加資格要件」という。）を満たしていることを確認し、審査結果を応募者に対し通知する。なお、参加資格要件を満たしていることが確認できない場合は失格とする。

イ 基礎審査

広域連合は、入札参加者から提出された入札提出書類により、入札参加者が基礎審査項目を満たしていることを確認する。

表 3 基礎審査項目

基礎審査項目	内 容
入札書類の確認	・ 提出された入札提出書類がすべて揃っていること。
入札価格の確認	・ 入札金額が予定価格を超えていないこと。
事業提案書の基礎審査	・ 事業提案書の内容が要求水準書に示す要求水準を満たしていること。 ・ 入札説明書及び様式集に示す事業提案書の作成に関する条件について違反のないこと。 ・ 事業提案書全体について、同一事項に対する 2 通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

表 3 の基礎審査項目について 1 項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。全ての基礎審査項目を満たしていることが確認された場合、当該入札提出書類について定量化審査を行う。

ウ 事業提案書に関するヒアリング

審査委員会は、基礎審査を通過した入札参加者に対し、各提案内容の確認等を目的として事業提案書に関するヒアリングを実施する。

エ 定量化審査

審査委員会は、入札提出書類に記載された内容について、次項(7)に従い定量化審査を行う。

(7) 定量化審査について

ア 定量化審査の流れ

事業提案書の提案内容については、「イ 事業提案に関する得点化方法」に従って得点化を行う。また、入札価格については、「ウ 価格提案に関する得点化方法」に従い得点化を行う。審査委員会は、事業提案に関する審査項目の得点と入札価格における得点の合計（総合評価値）が最も高い提案を行った入札参加者を最優秀提案者として選定する。

表4 定量化審査における審査項目及び配点

審査項目			配点
大項目	中項目	小項目	
事業提案に関する事項	運営・維持管理業務に関する事項	運営・維持管理体制	4
		運転管理業務	16
		維持管理業務	14
		環境管理業務	6
		余熱利用業務	4
		その他管理業務	4
	事業計画に関する事項	経営計画・事業収支計画	8
	リスク管理方法	10	
	地域振興	4	
価格提案に関する事項	入札価格に関する事項	入札価格	30
合計			100

イ 事業提案に関する得点化方法

提案を求めている審査項目においては、次に示す5段階評価による得点化方法により得点を付与する。

表5 事業提案に関する得点化方法

評価	判断基準	得点化方法
A	当該評価項目において、特に優れている	配点×1.0
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	当該評価項目において、優れている	配点×0.5
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	当該評価項目において、要求水準書程度である	配点×0.0

各審査項目の評価点については、各委員が個別に行った評価の平均値とする。なお、平均値を求める際は、少数第3位を四捨五入した値とする。

(イ)の結果をもとに、各入札参加者の得点の合計を算出する。

ウ 価格提案に関する得点化方法

入札価格については、次の算定式により得点を付与する。なお、得点は少数第3位を四捨五入した値とする。

【価格提案の得点算定式】
$\left(\begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{価格提案に関する得点} \end{array} \right) = 30 \text{点} \times \frac{\text{最低入札価格}}{\text{当該入札参加者の入札 価格}}$

エ 総合評価値の算定方法

「イ 事業提案に関する得点化方法」、「ウ 価格提案に関する得点化方法」により算出した各得点から、次に示す算定式により総合評価値を算出する。

【総合評価値の算定式】
$\left(\begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価値} \end{array} \right) = \left(\begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{事業提案に関する得点} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{価格提案に関する得点} \end{array} \right)$

オ 定量化審査において審査する点

審査委員会では、事業提案に関する事項について、以下に示す審査項目ごとに審査する点に基づき、審査を行い、その内容に応じて、5段階評価により得点を付与する。

表 6 定量化審査において審査する点

項目		配点	審査する点
運営・維持管理業務に関する事項			(48点)
運営・維持管理体制 (4点)	運営・維持管理体制	4	<ul style="list-style-type: none"> 全体組織計画として必要かつ十分な人員が配置されるとともに、適正な有資格者が確保され、配置されているか。
運転管理業務 (16点)	効率性・安全性に配慮した 運転管理	5	<ul style="list-style-type: none"> 効率性と安全性を考慮した適切な運転管理方法として、適確な提案がなされているか。
	処理対象物の質・量の変動 への対応	5	<ul style="list-style-type: none"> ごみ質、量の変動への対応策が十分検討され、実効性の高いものとして適確な提案がなされているか。特に、低位発熱量の低下時については、助燃料の低減に向けた取組みとして、適確な提案がなされているか。
	搬入・搬出物の性状分析(項 目・頻度等)	2	<ul style="list-style-type: none"> 法令等を踏まえ必要十分な項目・頻度となっているだけでなく、運転管理を向上させるために更なる提案がなされているか。
	緊急時等の対応	4	<ul style="list-style-type: none"> 停止基準及び要監視基準を超過した際、通常運転復帰までの手順等、として、適確な提案がなされているか。 その他緊急時(地震、火災、停電等)における対応として、適確な提案がなされているか。
維持管理業務 (14点)	調達計画	3	<ul style="list-style-type: none"> 調達方針及び調達計画について、通常時はもとより、災害などの緊急時にも適正に施設が稼働できるよう適切なものとなっているか。
	点検・検査の計画及び実施	3	<ul style="list-style-type: none"> 点検・検査計画・実施の内容が必要かつ十分なものとなっており、かつ施設の長寿命化が期待できるものとなっているか。
	補修・更新の計画及び実施	5	<ul style="list-style-type: none"> 補修・更新計画・実施の内容が必要かつ十分なものとなっており、かつ施設の長寿命化が期待できるものとなっているか。
	事業終了時の引渡し条件の 確実な履行	3	<ul style="list-style-type: none"> 事業終了時における引渡し条件の確実な履行ができる仕組みとして、適確な提案がなされているか。
環境管理業務 (6点)	環境保全基準・計画	4	<ul style="list-style-type: none"> 運転維持管理の効率性を確保しつつ、周辺環境への影響を最小限におさえる環境保全基準及び設定方針となっているか。また、それらを実現するための計画となっているか。
	作業環境管理基準・計画	2	<ul style="list-style-type: none"> 作業員の安全確保に十分配慮した作業環境管理基準及び設定方針となっているか。また、それらを実現するための計画となっているか。
余熱利用業務 (4点)	効果的な発電方策	4	<ul style="list-style-type: none"> 1年間を通じて、安定かつ高水準の発電が行えるよう、適確な提案がなされているか。

項目		配点	審査する点
その他業務 (4点)	情報管理業務	2	<ul style="list-style-type: none"> 各報告書の作成の考え方(項目、頻度、内容、保管期間)、データ等の管理が適切なものとなっているか。
	その他関連業務	2	<ul style="list-style-type: none"> 受入業務、その他関連業務(清掃、除雪、見学者対応、住民対応)の各業務において、提案する実施方針に実効性が高く、かつ、広域連合にとって有効な新たな提案がなされているか。
事業計画に関する事項			(22点)
経営計画・事業収支計画 (8点)	基本的考え方	2	<ul style="list-style-type: none"> 経営計画及び事業収支計画立案の考え方について、適確な提案がなされているか。
	SPC への出資構成	2	<ul style="list-style-type: none"> 本件事業の実施を考慮した出資構成について、適確な提案がなされているか。
	事業収支計画及び資金不足時の対応	4	<ul style="list-style-type: none"> 長期にわたる事業としての事業収支計画として、適確な提案がなされているか。 SPC において資金が不足した際の構成員等の支援として、適確な提案がなされているか。
リスク管理方法 (10点)	リスク管理方針及び管理体制	2	<ul style="list-style-type: none"> 本件事業の実施上におけるリスク管理方針として、実効性の高い、適確な提案がなされているか。 リスク顕在化確率の極小化、リスク顕在化時の影響の極小化を考慮したリスク管理体制として、的確な提案がなされているか。
	想定されるリスクへの対処方法	4	<ul style="list-style-type: none"> 想定するリスク及びその対応策について、適確な提案がなされているか。 リスク顕在化時における事業継続のためのSPCのサポート方法について、適確な提案がなされているか。
	セルフモニタリング	2	<ul style="list-style-type: none"> より具体的で実効性の高いセルフモニタリングとして、適確な提案がなされているか。
	保険の付保	2	<ul style="list-style-type: none"> リスク管理における保険の活用の考え方と本件事業において付保する保険について、適確な提案がなされているか。
地域振興 (4点)		4	<ul style="list-style-type: none"> 地元雇用、地元企業への貢献など地域経済への配慮及び地域住民への配慮がなされているか。

3. 最優秀提案者選定結果

(1) 資格審査

平成24年3月5日に入札公告を行い、平成24年3月30日に参加表明書及び参加資格確認申請書等を受け付けたところ、以下の1グループから申請があった。

広域連合は、当該グループが入札参加資格要件を満たしているか確認するための資格審査を実施し、当該グループの入札参加資格を確認し、平成24年4月6日に代表企業に対し、入札参加資格を有することを書面にて通知した。

表7 参加表明書及び参加資格確認申請書等提出グループ

グループ名	日立造船グループ（受付グループ名：キタコブシ）
代表企業	日立造船株式会社
構成員	日神サービス株式会社 明円工業株式会社 末廣屋電機株式会社 村田施設工業株式会社
協力企業	北海道三井化学株式会社 米倉商事株式会社

(2) 基礎審査

平成24年5月30日に入札参加資格を有する1グループから入札提出書類が提出された。

広域連合は、基礎審査項目に沿って提出された入札提出書類の審査を行った。

これにより、当該グループが基礎審査に合格しているものと認められた。なお、入札価格に関しては、平成24年5月30日に入札提出書類を提出したグループの立会いのもとで開札を行い、予定価格の範囲内であることを確認した。

第4回審査委員会で、広域連合から基礎審査の経過及び結果の報告を受け、当該グループが基礎審査に合格していることを確認した。

(3) 定量化審査及び事業提案書に関するヒアリング

ア 定量化審査

平成24年7月5日、7月31日に審査委員会は、入札提出書類について定量化審査を行った。7月31日の定量化審査に際し、審査委員会による事業提案書に関するヒアリングを実施し入札参加者から提案内容の説明や委員による質疑を行った。

イ 事業提案に関する得点化

定量化審査の審査項目について適確な提案がなされているかの審査を行い、絶対評価により事業提案に関する事項の得点化を行った。審査結果は、表8のとおりである。

表 8 事業提案に関する得点結果

項 目		配点	日立造船グループ
			得点
運営・維持管理業務に関する事項			
運転維持管理体制	運営・維持管理体制	4	2.00
運転管理業務	効率性・安全性に配慮した運転管理	5	2.92
	処理対象物の質・量の変動への対応	5	1.67
	搬入・搬出物の性状分析（項目・頻度等）	2	1.00
	緊急時等の対応	4	2.00
	維持管理業務	調達計画	3
	点検・検査の計画及び実施	3	1.25
	補修・更新の計画及び実施	5	2.50
	事業終了時の引渡し条件の確実な履行	3	2.00
環境管理業務	環境保全基準・計画	4	2.67
	作業環境管理基準・計画	2	1.00
余熱利用業務	効果的な発電方策	4	2.67
その他管理業務	情報管理業務	2	1.00
	その他関連業務	2	1.00
運営・維持管理業務に関する事項 小計		48	25.43

事業計画に関する事項			
経営計画・事業収支計画	基本的考え方	2	1.00
	SPC への出資構成	2	1.17
	事業収支計画及び資金不足時の対応	4	2.33
リスク管理方法	リスク管理方針及び管理体制	2	1.00
	想定されるリスクへの対処方法	4	2.00
	セルフモニタリング	2	1.17
	保険の付保	2	1.00
地域振興		4	2.67
事業計画に関する事項 小計		13	12.34

事業提案に関する得点 合計		70	37.77
----------------------	--	-----------	--------------

ウ 事業提案に関する講評

事業提案に関する事項の各審査項目についての評価は、表9のとおりである。

表9 事業提案に関する事項の講評

項 目		講 評
運営・維持管理業務に関する事項		
運転維持管理体制	運営・維持管理体制	・事業開始初期に運転員の運転技術向上を図る提案がなされていた。
運転管理業務	効率性・安全性に配慮した運転管理	・効率的な運転計画の提案がなされていた。
	処理対象物の質・量の変動への対応	・長期的、短期的な変動に対する提案がなされていたが、高質ごみにおける安定処理に努める必要がある。
	搬入・搬出物の性状分析（項目・頻度等）	・本地域のごみ組成の把握に努める提案がなされていた。
	緊急時等の対応	・要監視基準を超過しないような運転管理システムの提案が評価できた。 ・地震や火災等の事象毎に運転方法や安全確保方法について具体的な提案がなされていたが、確実に機能する体制を整備する必要がある。
維持管理業務	調達計画	・効率的な調達を行うための発注支援システムの提案がなされていた。
	点検・検査の計画及び実施	・点検・検査・整備データの電子化により効果的な補修・更新が期待できる提案がなされていた。
	補修・更新の計画及び実施	・維持管理の継続的な改善により長寿命化が期待できる提案がなされていた。
	事業終了時の引渡し条件の確実な履行	・事業期間終了後の安定稼働の担保に係る具体的な提案がなされていた点が評価できた。
環境管理業務	環境保全基準・計画	・公害防止基準として提示した項目に加え、測定項目、基準を追加した提案が評価できた。
	作業環境管理基準・計画	・作業員に配慮した計画の提案がなされていた。
余熱利用業務	効果的な発電方策	・具体的な検討に基づき年間売電量を最大化する提案が評価できた。
その他管理業務	情報管理業務	・情報漏えい・セキュリティ対策にまで配慮された提案がなされていた。
	その他関連業務	・各業務について要求水準以上の提案がなされていた。
事業計画に関する事項		
経営計画・事業収支計画	基本的考え方	・安定した事業継続が期待できる計画策定方針となっていた。
	SPCへの出資構成	・多くの地元企業を取り込みつつ、経験豊富な代表企業がリーダーシップを発揮できるような提案がなされていた。
	事業収支計画及び資金不足時の対応	・安定した事業継続が期待できる事業収支計画であるとともに、資金不足時の対応として多様な提案がなされていた。

項 目		講 評
リスク管 理方法	リスク管理方針及び管理体制	・ S P C のリスクを最小化する提案がなされていた。
	想定されるリスクへの対処方法	・ リスクへの対処方法の具体的な提案がなされていた。
	セルフモニタリング	・ 経験豊富な代表企業によるモニタリング、外部審査機関による安全性評価に係る提案がなされていた。
	保険の付保	・ 必要な保険が付保されており、事業の安定継続が期待できる提案がなされていた。
地域振興		・ 積極的な地域の人材・企業活用に係る提案が評価できた。

エ 価格提案に関する得点化

価格提案の得点化を行った結果は、表 10 のとおりである。

表 10 価格提案に関する得点結果

入札参加者	得点	提案価格（円） 【消費税抜き】	価格提案に関する得点 (最低入札価格/当該入札参加者の入札価格)×30点
日立造船グループ	30	6,589,999,995	30.00

オ 総合評価値の算定

「イ 事業提案に関する得点」、「エ 価格提案に関する得点」を加算して、表 11 のとおり総合評価値を算出した。

表 11 総合評価値の算出結果

入札参加者	事業提案に関する得点	価格提案に関する得点	総合評価値
日立造船グループ	37.77	30.00	67.77

(4) 最優秀提案者の選定

審査委員会は、上記の結果に基づき日立造船グループを最優秀提案者として選定した。

4. 総評

本件事業は、砂川地区保健衛生組合、中空知衛生施設組合及び北空知衛生センター組合から搬入される一般廃棄物を、広域連合が整備、所有する一般廃棄物焼却処理施設において適正に処理するとともに、民間事業者の創意工夫による独自の提案を取り入れた良質な運営・維持管理と経費の効率化を図ることを目的により、施設の運転管理、維持管理、点検・検査及び補修・更新等を含めた包括的な運営・維持管理業務を、今後 15 年間の長期にわたり委託するものである。

本件事業への参加者は、施工企業グループの 1 グループのみであったが、定量化審査においては、全ての審査項目に対して厳正なる審査を行った結果、日立造船グループによる提案は広域連合の期待に応えるものと判断されることから、最優秀提案者として選定するに至った。

なお、当審査委員会における審議において、日立造船グループの提案内容に対して以下に示す配慮事項が挙げられた。

- ✧ 高質ごみに対する安定した運転を図ること。
- ✧ 確実に機能する地震等の緊急時体制を整えること。

また、以下に示す要望事項が挙げられた。

- ✧ 電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に対応し、バイオ比率の算定に必要な分析を実施すること。
- ✧ 総合運営支援システムの活用においては、施設の運転状況を的確に把握できるよう、目的に合わせたデータ整理・分析方法を検討・実施し、広域連合に提供すること。

今後、広域連合の落札者決定を経て、日立造船グループが設立する特別目的会社が構成企業と連携しつつ事業を実施していくことになる。

特別目的会社を含めグループの構成企業は上記の指摘・要望事項について、入札及び契約の公平性を妨げない範囲において本件事業をより良いものとするため広域連合と十分な協議を行い、その対応に真摯に努め、今後 15 年間にわたり質の高い公共サービスを提供するよう期待するものである。

平成 24 年 7 月 31 日

「一般廃棄物焼却処理施設長期包括委託事業」

総合評価審査委員会 委員長 松藤 敏彦

一般廃棄物焼却処理施設長期包括委託事業に係る事業契約の締結について

中・北空知廃棄物処理広域連合と落札者が設立した特別目的会社は、標記事業に係る事業契約を下記のとおり締結しましたので、公表します。

平成 24 年 10 月 1 日

中・北空知廃棄物処理広域連合
広域連合長 泉 谷 和 美

記

1. 契約締結日

平成 24 年 9 月 25 日

2. 受託会社（特別目的会社）概要

- ・商号 中・北空知環境テクノロジー株式会社
- ・本店所在地 歌志内市字本町 307 番地
- ・代表者 取締役 清野 憲一
- ・会社成立年月日 平成 24 年 9 月 3 日
- ・資本金 7,000 万円
- ・業務内容 一般廃棄物焼却処理施設の運転、維持管理、補修及び更新を含めた包括的な運営・維持管理

3. 事業期間等

- ・履行期間 事業契約締結日から平成 40 年 3 月 31 日まで
- ・運営準備期間 事業契約締結日から平成 25 年 3 月 31 日まで
- ・運営期間 平成 25 年 4 月 1 日から平成 40 年 3 月 31 日まで

4. 契約金額

金 6,919,499,986 円

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 329,499,991 円)

以上